

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第7部門第3区分

【発行日】平成17年11月17日(2005.11.17)

【公表番号】特表2005-501473(P2005-501473A)

【公表日】平成17年1月13日(2005.1.13)

【年通号数】公開・登録公報2005-002

【出願番号】特願2003-524168(P2003-524168)

【国際特許分類第7版】

H 04 L 1/16

H 04 J 11/00

H 04 J 13/00

【F I】

H 04 L 1/16

H 04 J 11/00 Z

H 04 J 13/00 A

【手続補正書】

【提出日】平成16年4月13日(2004.4.13)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

基地局においてデータ変調を調節するための方法であって、

送信のために送信機においてデータを受信することと、

受信したデータを、送信のために、各パケットが特定のタイプの符号化／データ変調を有するパケットにフォーマットすることと、

前記パケットを送信することと、

各パケットについて、該パケットが受信されたことの確認応答の受信のために戻りチャネルをモニタすることと、

パケットに対する確認応答が受信されない場合、前記送信機において該パケットを再送することと、

再送統計を収集することと、

収集した再送統計を用いてそれぞれの特定のタイプの符号化／データ変調を調節することを備えることを特徴とする方法。

【請求項2】

前記特定のタイプの符号化／データ変調は、前方誤り訂正(FEC)であることを特徴とする請求項1に記載の方法。

【請求項3】

前記パケットは、直交周波数分割多元接続(OFDMA)エインタフェースを用いて送信され、前記特定のFEC符号化／データ変調調節は、OFDMAセット内のサブチャネルを選択的に無効化することに加えて実行されることを特徴とする請求項2に記載の方法。

【請求項4】

前記パケットは、シングルキャリア周波数領域等化(SC-FDE)エインタフェースを用いて送信されることを特徴とする請求項1に記載の方法。

【請求項5】

前記パケットが符号分割多元接続(C D M A)エアインターフェースを用いて送信されるとき、前記戻りチャネルは、高速フィードバックチャネルであることを特徴とする請求項1に記載の方法。

【請求項6】

否定応答の受信に応答して、パケットを、許容不能な誤り率を有すると識別することをさらに備えることを特徴とする請求項1に記載の方法。